

# 工事写真報告書

工 事 番 号      平成    29   年度

工 事 名 N 様 邸

工 事 箇 所 屋根・外壁・その他 塗装工事

工事住所 北九州市 八幡西区 浅川

工 期 着 手 平 成 年 月 日

竣 工 平 成 年 月 日

工事施工者 **ベストホーム株式会社**



外観

---

---

---

---

---

---

---

---

---



外観

---

---

---

---

---

---

---

---

---



外観

---

---

---

---

---

---

---

---

---



外観

---

---

---

---

---

---

---

---

---



外観

---

---

---

---

---

---

---

---

---



外観

---

---

---

---

---

---

---

---

---



軒天

経年劣化しております。

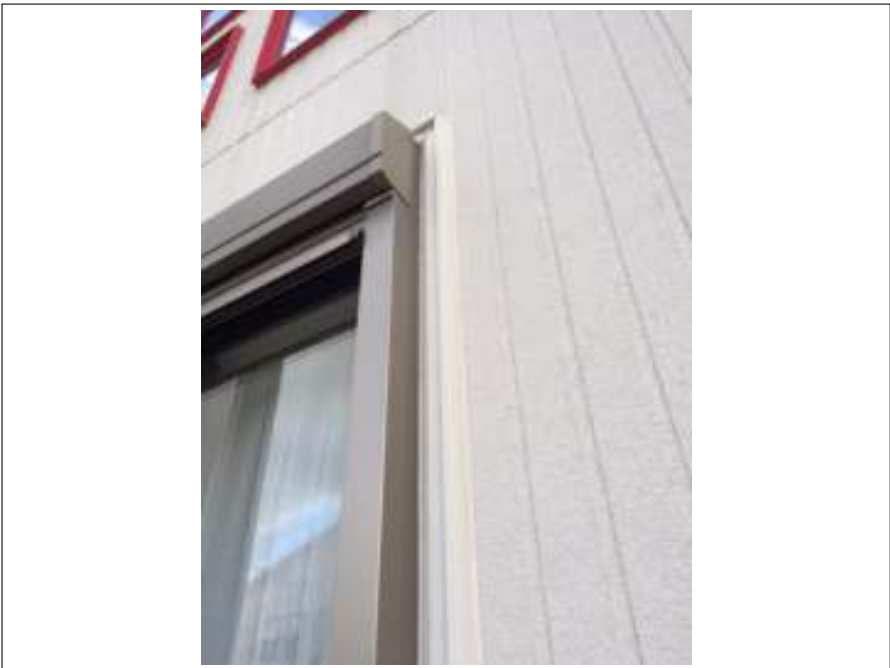
この部分は通気性の良い軒天専用の  
塗装をしていきます。



破風

経年劣化しています。

劣化が進むと腐食し、取替又は板金  
カバー工法が必要になりますので、  
劣化する前の塗装をお勧め致しま  
す。



廻り縁

同上



### 換気フード

この部分は鉄、スチール素材になります。劣化するとサビが発生してきますので塗装が必要です。

---

---

---

---

---



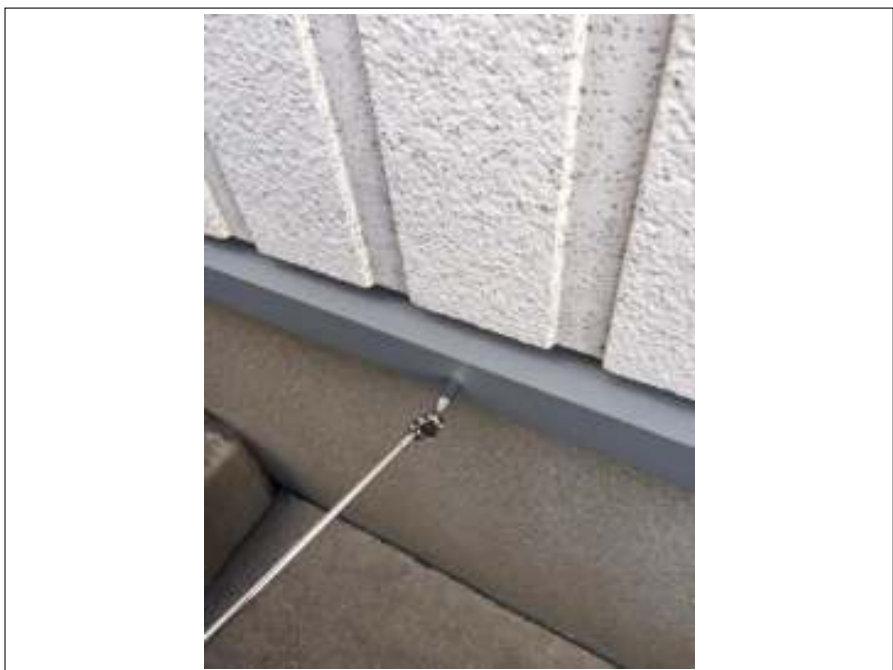
### シャッター・シャッターBOX

#### 対処方法

サビが発生しているうえに塗装をしてもすぐにサビが表面化してきますので、ケレン作業・サビ止め等の下地処理をおこない、塗装をしていく必要があります。

---

---



### 土台水切り

#### 同上

---

---

---

---

---

---

---



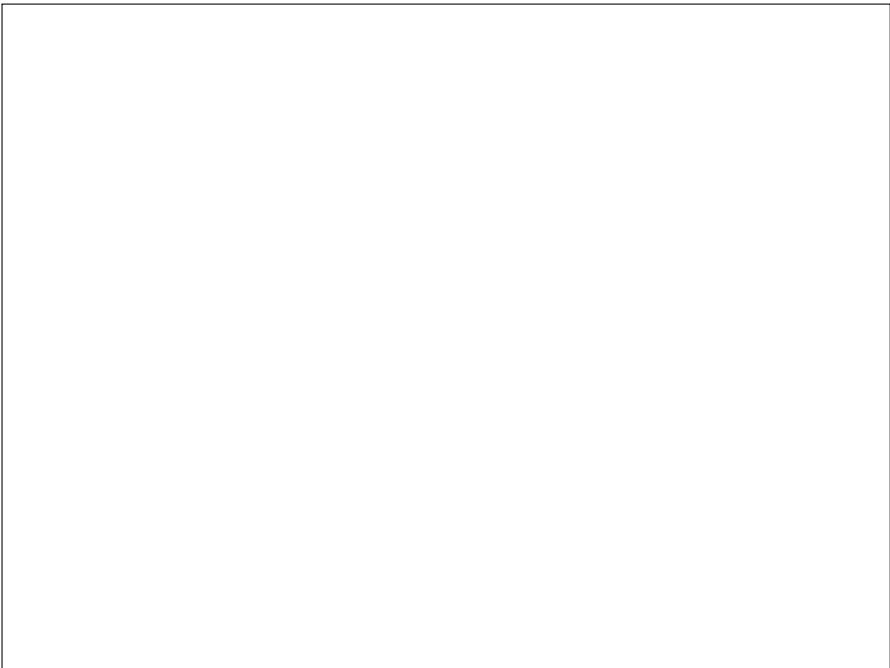
樋・ダクトカバー

こちらは塩ビ素材になります。  
劣化すると割れが生じたりすること  
がありますので、塩ビ専用の下塗り  
をおこない塗装をしていきます。



樋・ダクトカバー

同上







**基礎 クラック部**

アルカリ性のコンクリートは空気中の二酸化炭素や酸性雨と結合することによって徐々に中性化されます。

中性化されたコンクリートは表面にヒビが入るだけでなく、内部の鉄筋の腐食や膨張につながり構造物の性能低下につながりますので、シーリング等で補修をおこないます。



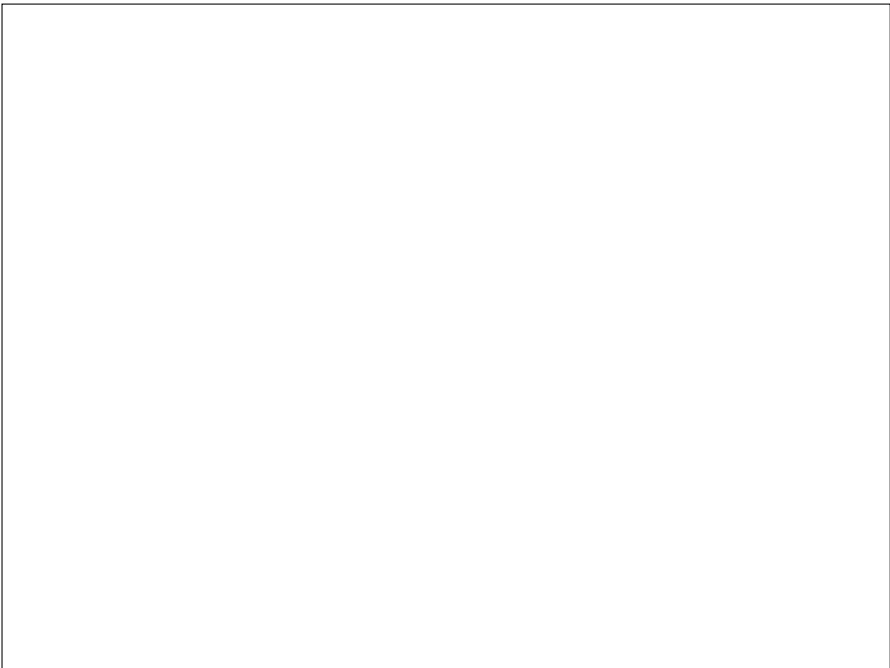
**基礎 クラック部**

0.3mm以上のキレツは補修が必要です。



**基礎 クラック部**

同上



塀

地面から水や湿気を吸いはき出す部分になり、この部分に耐久性の高い塗装や膜を張る塗装をおこなうと、膨れる恐れがありますので、通気性の良い塀の塗装をおこないます。

塀

同上





**外壁 ピンホール**

新築当時の状態はわかりませんが、  
ピンホールのような小さな巣穴のよ  
うなものが全体にあります。

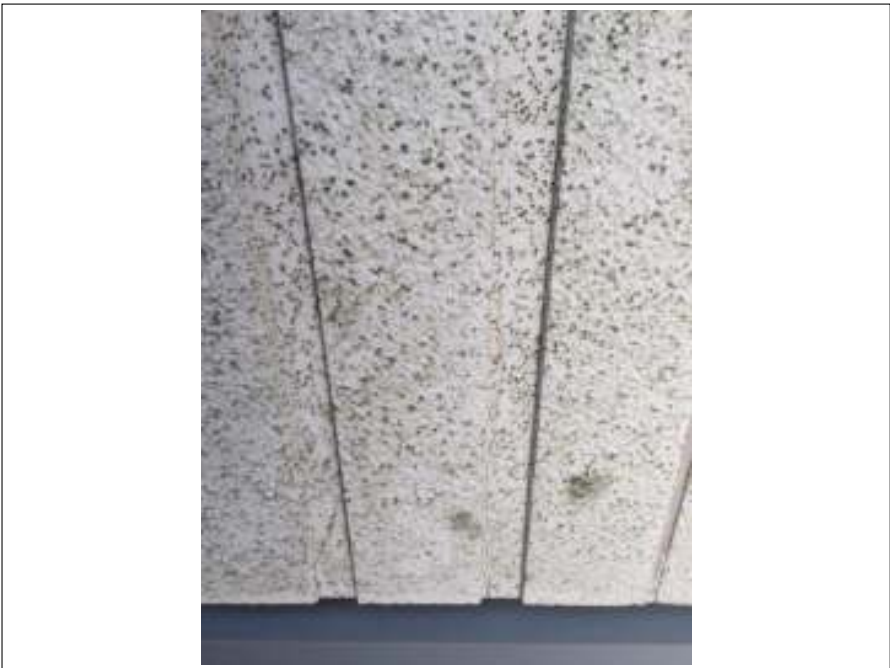
この現象も、防水効果を損なうこと  
になりますので、下地処理下塗りを  
しっかりおこなう必要があります。



**外壁 ヘアークラック部**

この部分から雨水や湿気、炭酸ガス  
等が直接侵入し躯体・外壁の痛みや  
建物の寿命につながります。

0.3mm以上の幅のクラックになると  
シーリング等での補修が必要にな  
り、補修あとが目立ってきますので  
その前の塗装をお勧め致します。



**外壁 ヘアークラック部**

同上



外壁 クラック部

同上



外壁 クラック部

同上



外壁 クラック部

同上



外壁 劣化部

同上



シーリング劣化部

劣化している部分があります。

劣化している部分はシーリング補修  
をおこない、塗装をしていきます。



目地 クラック部

同上



## 外壁 カビ発生部

カビの発生が見られます。

カビの上にくら良い塗装をして  
も、カビの根が残っている以上塗装  
を突き破って表面化してきますの  
で、カビの根を抑える必要がありま  
す。



## 外壁 カビ発生部

対処方法

いくら高圧洗浄をかけても、カビの  
根が残ってしまいますので、カビの  
根を殺す防カビ下塗りをおこない、  
下塗り・上塗り二回の三層四工程を  
おこないます。

作成者：戸高勇樹

劣化診断士

認定番号：13100230

